

職務内容証明書（例）

（複数の会社での経験年数を合算する場合、会社ごとに1枚の証明書が必要となります。）

1 受講申請者

氏名

住所

2 受講資格に該当する最終学歴（注1）

〇〇大学 工学部 〇〇学科 卒業証明書の写し（注2）を添付すること

（注1） 工学に関する課程には、機械工学、電気通信工学、土木建築工学、応用化学、応用理学、原子力工学、金属工学、航空工学などがあります。

（注2） 工作物に関して11年以上の実務経験を有する者として受講資格がある場合は卒業証明書の写しは不要となり、事業主による実務経験証明だけで可。

3 職務内容（実務経験）証明（注3）

勤務先名（部課名）	所在地（番地）	在職期間と実績年月数	工作物に関する職務内容（注4）
		年 月～ 年 月 (年 ケ月)	
		年 月～ 年 月 (年 ケ月)	

本受講申請者は、上欄の職務内容のとおり、工作物に関する実務経験を有することを証明します。

〇年〇〇月〇〇日

所在地 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町▲丁目〇番▲号

商号・名称 〇〇株式会社〇〇事業所長 〇〇 〇〇（署名又は押印）

（注3） 受講資格として計上したい実務経験のある会社をすでに退職している場合は、原則として、その会社の現在の責任者による証明が必要となります。必要に応じ、上記の1と3の内容を記載する証明書を、必要な会社の数に応じた枚数だけ作成して、提出してください。

（注4） 工作物に関する実務経験とは、工作物の研究、設計、製作又は据付け等の業務の経験をいい、これらには工作物の解体工事又は改修工事の実務に関する経験が含まれません。